



ウォンバット課(自称)による「ウォン to いけだ」プロジェクト

200 人以上が購入！450 枚超を販売！

「ウォンバットと暮らすまち いけだ」PR ウェアを作成

市立五月山動物園のリニューアルオープンに向け、「ウォンバットと暮らすまち いけだ」の機運を高めるため、市職員有志によるチーム「ウォンバット課(自称)」が PR ウェアを企画・作成しました。

職員や関係者向けに 450 枚以上を販売し、200 人以上が購入。8 月 21 日より順次 PR ウェアを着用し業務に従事しています。今後も職員一丸となり「ウォンバットと暮らすまち いけだ」を広めてまいります。

■企画の背景

日々の業務で気軽に着用でき、職員自身が市の PR に参加できる取り組みとして企画しました。これまでも PR ポロシャツの作成実績はありましたが、T シャツは今回が初めて。

五月山動物園は、国内でウォンバットを見ることができる数少ない動物園で、現在は世界最高齢のウォンバット「ワイン」を含む計5頭が暮らしています。リニューアルオープンに向けて職員みんなでまちを盛り上げようと、「ウォンバット課(自称)」が中心となり、デザインから販売までを行いました。



ポロシャツ3色、Tシャツ2色展開

■デザインについて

市の PR につながるよう、背面を大胆に見せた「ライブ T シャツ風」のデザインに仕上げました。

表には、五月山動物園で暮らす世界最高齢のウォンバット「ワイン」のシルエットと「ウォンバットと暮らすまち いけだ」の文字を配置。背面には「WOM TO IKEDA」の文字とウォンバットの顔を組み合わせ、マークに加え、これまで同園に来園したウォンバットの来園月(誕生日)と名前を記しています。

普段の業務でも着用しやすく、池田市とウォンバットとのつながりを感じてもらえるデザインにしました。



PR ウェアを着たウォンバット課(自称)のメンバー

■アンケート結果

購入者などを対象に実施したアンケートには 70 人以上が回答。

PR ウェアについて「とても満足」「満足」と回答した人は 83%でした。また、今後も職員自身が参加できる PR 企画に「ぜひ参加したい」「内容によっては参加したい」と回答した人は 87%。「職員みんなで着られること」や「PR につながることを」評価する声も多く寄せられ、職員参加型の PR 企画への高い関心がうかがえる結果となりました。